

平成28年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

施設名	大和市深見中児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター深見中会館管理運営委員会 会長 大川原 功
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
深見中	83	4,114	121	329	4,647	15	306

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
新一年生歓迎会（リズムあそび・自衛消防訓練他）	4/23	138人
母の日工作（メッセージ付き花束）	5/2～9	30人
父の日工作（とびだすハートのメッセージカード）	6/7～19	33人
七夕のつどい（防犯映画上映・うた・ゲーム他）	7/2	196人
夏の工作（プラバンを作ろう）	7/26～8/20	30人
敬老会プレゼント工作（タオルで作ったぬいぐるみ）	7/26～8/20	12人
おたのしみ週間（お月見のお話と日本昔話の映画会）	9/21～25	64人
ハロウィン週間（キャンドルライト作り）	10/4～10	31人
ふれあい広場（深見大和地区民児協と共催）	10/16	232人
クリスマス工作（毛糸で作ったクリスマスツリー）	11/23～12/8	25人
クリスマス会（歌・演劇）	12/13	204人
干支工作（年賀状を出そう）	12/16～24	21人
節分週間（ストラックアウト・くじ引き）	1/25～31	31人
ひなまつり工作（飾りびな）	2/10～24	15人
ひなまつり会（うた・読み聞かせ）	3/3	11人

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,514,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,355,617
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	158,383
収入計 (①)	2,514,000	支出計 (②)	2,514,000
収支決算	0		

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成29年4月に利用者アンケートを実施し、平成28年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 「スタッフの対応」について、利用者アンケートの回答者の98.0%（前年：89.8%）が「よい」～「ふつう」と回答しており、前年度以上にサービス向上に努めた点を評価します。 児童館利用の人数が前年度比113.2%と増加したことは高く評価します。成果のあった取組みについて振り返り、更なる発展に活かしてください。 事故防止の対策として館内に注意を促す表示をする等、利用者が安全に施設利用できるように配慮されている点は評価します。
<p>評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 七夕のつどいやクリスマス会では、自主事業の運営にあたり子ども会・青少年指導員・保護者等に協力を得るなど、児童と地域住民との交流機会となっている点を高く評価します。また、両事業共に参加人数が前年比107.2%と増加していることから、利用者にとって満足度の高い企画へと昇華していると思われますので、今後も利用者の意見を取り入れながら継続的に実施していくことを期待します。 自主事業の企画内容や成果については、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを望みます。また、他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、児童により多くの体験の機会を与えられるような、企画の広がりを目指します。
<p>評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。 手洗い・消毒の習慣を館内の独自のルールとし、声掛けを継続的に行ない浸透させる等、生活指導に力を入れている点は評価します。
<p>評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断しています。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。